

重症心身障がい児・者の福祉サービスが充実

家族介護の負担軽減に期待

医療依存度の高い重症の障がい児・者への福祉サービスを提供することができる「ナーシングデイ高山」（冬頭町）が開設しました。

この施設は、介護保険の療養型通所介護施設を利用して、医療的なケアが必要な児童も含めた在宅療養者への介護・福祉サービスを提供するもので、岐阜県看護協会が運営します。

介護・障がい福祉・児童福祉の3つのサービスが提供できる事業所としては県下で初。また、介護保険の施設で子どもたちの通所福祉サービスを行う飛驒地域で初めての事業所となります。

施設の開設により、医療依存度の高い重症心身障がい児・者の家族介護の負担軽減にも大きな期待が寄せられます。市では開設に向けた備品の購入に助成して、支援しています。

問合せ ナーシングデイ高山 ☎57-8566



バリアフリーにも配慮された室内

「共生社会」は、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会で

が、今後もお子さんや保護者のみなさんに寄り添い、ニーズに応えられるよう途切れのない支援の仕組みづくりを目指します。

生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を

『共生社会』の実現を目指して

子どもたちの健やかな成長は、みんなの願いです。高山市では、障がいがあってもなくても、共に学び、共に遊び、働くことができる『共生社会』を目指した、いろいろな取り組みを進めていきます。

問合せ 子育て支援課 ☎35-3179

子どもたちの発達には個人差があり、一人ひとり違います。また、子育てでは、悩みや不安、心配ごとも多く、大変だと思つ時もあるかもしれません。しかし、それ以上に楽しさや喜び、幸せな時もあるはず。高山市では、生まれ育つすべての子どもたちが、妊娠から自立するまでの成長段階に応じて途切れなく支援が受けられるよう、保健・医療福祉・教育など子どもたちに関わる関係機関が一緒になってさまざまな取り組みを進めています。適切な就学や就労を見据えて、その子どもが社会の一員として地域社会に貢献できるようにすることが高山市の目指す最終目標です。

相談窓口	内容	場所・電話番号
家庭児童相談室	家庭・児童全般に関する相談	子育て支援課（本庁1階）☎35-3179 夜間・休日は☎32-3333
育児相談	主に0～3歳の子育てに関する相談	子育て支援センター（岡本保育園内）☎33-7963
乳幼児相談	主に乳幼児を対象にした発育や育児などに関する相談	健康推進課（市保健センター内）☎35-3160
発達相談	子どもの発達に関する相談 18歳以上も可	福祉サービス総合相談支援センター（本庁1階）☎35-3002
母子・父子相談	母子・父子家庭の生活、養育などに関する相談	子育て支援課（本庁1階）☎35-3179 母子父子福祉センター（総合福祉センター内）☎35-0294
教育相談窓口	就学、学校生活などに関する相談	学校教育課（本庁3階）☎35-3154 教育研究所（一之宮支所内）☎53-2368

その他、いじめSOSダイヤル（☎35-3500）、飛驒子ども相談センター（☎32-0594）もあります。

引き継いでいくのは

丁寧な支援と信頼関係

サポートブックの配布を始めました

市では今年度から、全てのお子さんを対象にサポートブックの配布を始めます。まっ子成長のあしあとへの配布を始めています。

サポートブックは、生まれてから自立するまでのお子さんの成長の記録を、保護者に書き留めていただくもので、今後お子さんが何らかのサポートが必要になった時、スムーズに支援を受けるための手助けとなります。

4カ月児健診時に順次配布しているほか、希望される保護者にもお渡ししています。

問合せ 福祉課、または子育て支援課

市内の保育園・幼稚園に特支コーディネーター設置

保育士・幼稚園教諭のスキルアップ

子どもたちにとって、保育園や幼稚園はまさに生活の場。高山市では毎年度、子どもたちがより過ごしやすく生活できるように、市内全保育園・幼稚園に特別支援コーディネーターを配置して、具体的な支援の方法などの研修を行っています。

また、市内の児童発達支援事業所5カ所においても、子どもたちへの支援について継続的に研修会を開催するなど、行政と事業者が一体となって支援スキルの向上に努めています。